



交通安全ほっとストーリー④

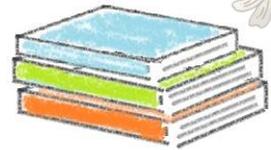
今回は、石川県警察にインターンシップで職場体験をした大学生からいただいたものを紹介します。

交通事故で家族を亡くした遺族が書き記した手記
「ハンドルの重みは命の重み」を読んで感じた感想になります。



心が苦しくなる思いになった。

幼い頃に父を亡くし嫌な思いをしてきた中で、年齢を重ねるごとに自立し成長している様を読み取ると、彼女自身が精神的に強いと感じた。彼女は私と同じ歳でありながら、こういった嫌な過去を受け入れ、両親に感謝をしているところや、“勇氣は一瞬、後悔は一生”という言葉を私も胸に刻み、人に感謝をして生きていきたいと、この文を通して感じた。



交通事故は、いつ自分が起こしてしまうかも分からないし、巻き込まれる可能性もあり、「自分は絶対大丈夫」ということは全くないということを改めて知らされました。自分も誰かの幸せを奪うことがないように、無事故・安全運転を徹底しなければならぬと思いました。

新聞やニュースで重大な事件や事故が取り上げられていたとしても、心のどこかで「自分とは無関係なもの」と決めつけ、これまでの人生で深く考えたことはありませんでした。今後、事件や事故の新聞やニュースを見た際には、出来事の表面的な部分だけではなく、被害者や遺族などの心情等を含めた本質的な部分を意識して、日常生活を過ごしていきたいです。

幸せな状態から、交通事故によって状況が一変してしまう様子が書かれており、改めて交通事故の悲惨さを感じました。



QRコードを読み取ると
 サイトにつながります！



「ハンドルの重みは命の重み」はインターネットで自由に閲覧することができます。家族で**交通安全**について話し合うきっかけに読んでみてください。

令和4年

秋の全国交通安全運動

実施期間 9月21日(水)～9月30日(金)

ツイッターを運用しています。フォローをお願いします！【石川県警察交通安全情報@IP_koutuu_anzen】



【いぬわし君の交通安全Journal】
 ◇毎月1日、15日(土・日・祝の場合、翌平日)に新情報を配信します。
 ◇県警のウェブサイトにも掲載しています。
www2.police.pref.ishikawa.lg.jp/

【交通安全ほっとストーリー】
 投稿フォームはこちら



www2.police.pref.ishikawa.lg.jp/inquiry/inquiry09/

